

教育 Today



28

首都圏では交通機関のまひ、計画停電による混乱と一部生活物資の不足、毎日続く被災地からの報道などを経てちょうど1年。人それぞれに気づきや行動成長があった。ある公立高校の高3女子

震災復興に思う

は、小さいころから抱いていた医師になる夢の第一歩として、地元公立大学医学部に見事現役合格を果たした。それは宮城県気仙沼市に1カ月間

活動する医師の使命に共感し、同大学の医学部で学ぶ強い決意をしての合格である。また、ある大学関係者によると、中国からの留学生は被災地からの映像の中で、一列

一方、知人のバン格拉デシュ人は祖国で広がる風評を自ら覆した。原発から漏れる放射能汚染で日本が危ぶまれている。海外から見れば日本は小さな島国。祖国が福島県の

成長をしているほんの一例である。先日、本紙で横浜国立大学教授高橋勝氏の「被災地の子どもたちの様子」を伝えるコラムが掲載され、フランスの文化人類学者レイヴィーストロースの言葉で「プリコラージュ」(手持ちの道具で対処する知恵)を引用していたが、まさに同感である。



皆が知恵使い行動

中高学院大学受験指導事業部長 井川 隆成

首都圏では交通機関のまひ、計画停電による混乱と一部生活物資の不足、毎日続く被災地からの報道などを経てちょうど1年。人それぞれに気づきや行動成長があった。ある公立高校の高3女子

医師の指揮をとった地元公立大学医学部救急部長の活動講演がきっかけであった。最初は目の前で苦しんでいる人を助きたい、という漠然とした動機で医師を目指していたが、必要とされる場所

に並んで子どもや年寄りに配慮しながら食料を受け取る人々の姿を見て日本人の素晴らしさをあらためて実感した。非常時においてもお互いに譲り合う礼儀止しさに感銘を受けたのであろう。

放射能汚染を一事が万事とらえていることに対して、都心の様子をビデオに収めて国営テレビで30分間、首都東京の安全を自ら報道した。この震災が各人の胸に刻み込まれ、さまざまな行動を通じて

この震災を通じて国の内外を問わずあらゆる人々が自らの立場で知恵を使って行動をしている。困難に直面し、さまざまな経験をしてきたことは、これから起こりうる世界各国の課題解決に向けて大きな役割を果たすことであろう。